

25件決まる

ニッポンハム食の未来財団助成研究対象

ニッポンハム食の未来財団は3月28日、2016年度の公募型研究助成の助成対象研究を決定、東京女子医科大学の芦野滋助教によるウコン由来成分クルクミンによる食物アレルギー改善効果など25件を選んだ。合計で約6300万円を助成する。食物アレルギーに関する環境改善への寄与が期待できる。

ニッポンハム食の未来財団は食物アレルギー関連の研究助成、食物アレルギー対応力の向上を目指した食従事者への講演および情報提供、専用ホームページによる情報発信などを行い、研究助成はその一環。今回の応募総数は個人研究46件、共同研究35件の81件で、助成対象課題数は個人研究助成18件、共同研究助成7件となった。

（伊藤哲朗）

小学校に発送開始

ニッポンハム食の未来財団

学習漫画「食物アレルギーのひみつ」

ニッポンハム食の未来財団が協力した学習



漫画「食物アレルギーのひみつ」（写真）が3月29日から、全国約2万2300の小学校と約3200の公立図書館に配送される。配架は4月上旬から中旬ごろを想定。制作は学研パブリッシング。また、「食物アレルギーの

ひみつ」の解説部分を抜粋し、これから新たに食物アレルギーを学ぶ方に必要な基礎知識をQ&A形式でまとめた「食物アレルギーのひみつ10のQ&A」も完成。財団のセミナー参加者に小冊子として配布するほか、ホームページから無料でダウンロードできる。

「食物アレルギーのひみつ」は学研の「まんがでよくわかるシリーズ」。非売品。ハンバーガーや牛丼などもあり上げている。楽しみながら漫画を読んでいるうちに、知りたいことが分かるようになる。

（伊藤哲朗）